

平成21年度 市政世論調査結果報告書

概要版

はじめに

本市の市政世論調査は昭和45年に実施して以来、今回で40回目を迎えます。

市政世論調査は市民各層の行政ニーズを的確にとらえ、行政施策に反映させていくために継続して実施しているものです。

今回は「暮らしや居住意向について」「越谷市のイメージと将来像について」「男女共同参画について」「越谷市健康づくり行動計画『いきいき越谷21』について」「各種がん検診の受診状況について」「防犯について」「越谷の農業について」「景観について」「住宅等における耐震診断・改修について」「越谷市の施策について」の各テーマにおいて、市民意識の把握に努めました。

今回の調査で、すべてのニーズや問題点が解明されたわけではありませんが、調査の結果を今後の市政運営の参考資料として活用しながら、市民の期待に応えられるまちづくりや、行政サービスを推進してまいりたいと考えております。

ご多忙にもかかわらず、市政世論調査にご協力をいただきました市民の皆様にご心より御礼申し上げます。

平成21年12月

越谷市長 **高橋 努**

調査の概要

- ◆調査地域 越谷市内全域
- ◆調査対象 市内在住の20歳以上の男女
- ◆対象者数 5,000人
- ◆抽出方法 住民基本台帳より無作為抽出
- ◆調査方法 郵送法(郵送配布・郵送回収)
- ◆調査期間 平成21年6月24日～平成21年7月9日
- ◆回収結果 回収票数 1,896 (37.9%)
有効票数 1,896 (37.9%)
- ◆本調査報告書(概要版)の見方について
 - 調査結果の比率は、その回答者数を基数として、小数第2位を四捨五入して算出している。四捨五入の関係で、合計が100%にならない場合がある。
 - 複数回答形式の場合、回答比率の合計は通常100%を超える。
 - 図表中の「n」とは、その設問への回答者数を表す。
 - 選択肢の語句が長い場合、本文や表・グラフ中では省略した表現を用いている。

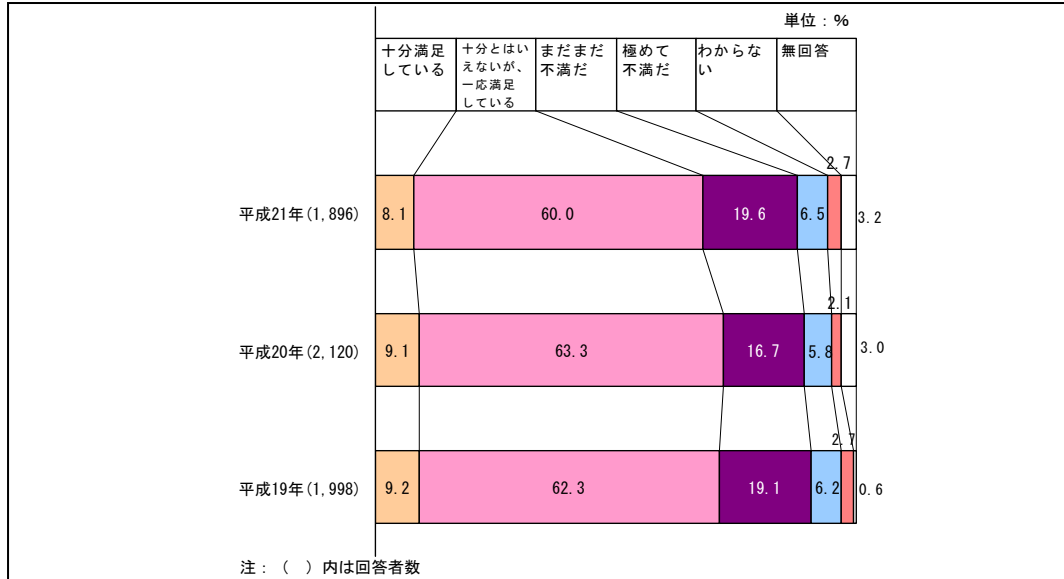
◇暮らしや居住意向について◇

●現在の暮らし向き

満足している人の割合が微減

現在の暮らし向きについて、「十分とはいえないが、一応満足している」(60.0%)が最も多く6割を占め、次いで「まだまだ不満だ」(19.6%)が多くなっています。現在の暮らし向きについて満足している人の割合は、平成19年度71.5%、平成20年度72.4%、今回調査では68.1%となっています。

問8 あなたは現在の暮らし向きについて、どのように思っていますか。

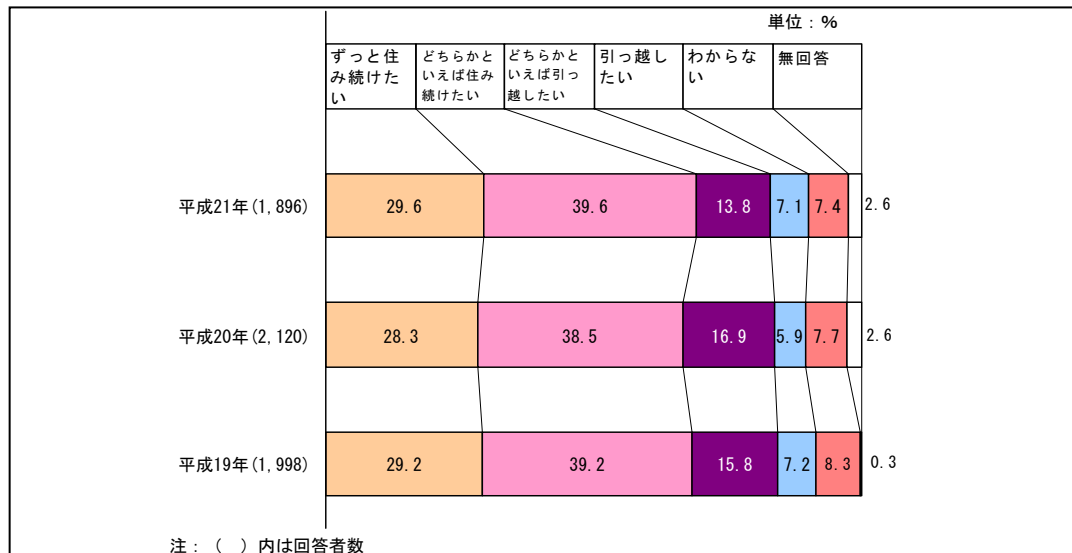


●今後の居住意向

住み続けたい人の割合が微増

今後の居住意向については、「どちらかといえば住み続けたい」(39.6%)が4割弱を占め最も多く、「ずっと住み続けたい」(29.6%)が続いています。住み続けたい人の割合は、平成19年度68.4%、平成20年度66.8%、今回調査では69.2%となっています。

問9 あなたは今後も、現在のところに住み続けたいと思いますか。



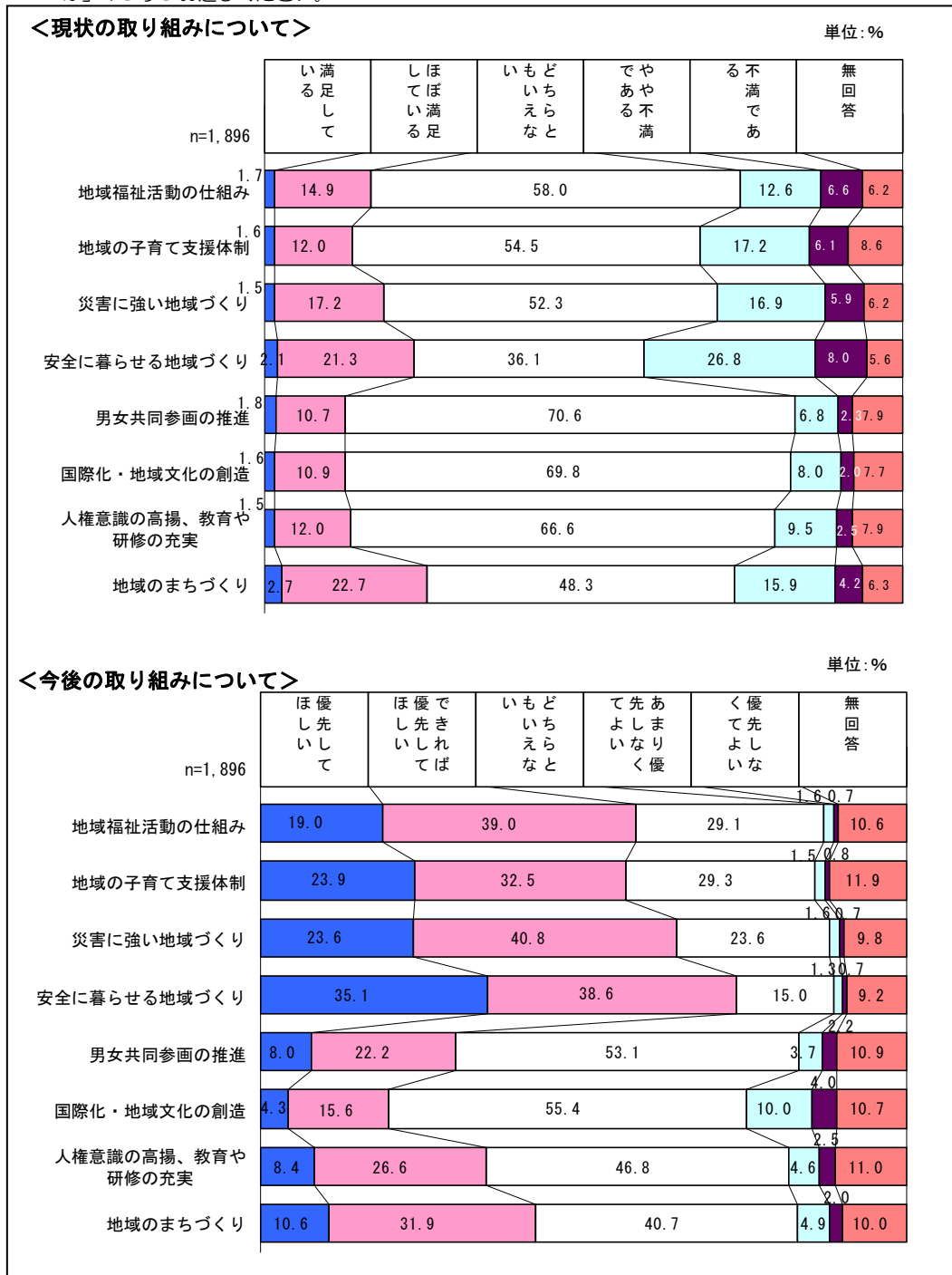
◇越谷市のイメージと将来像について◇

●豊かな地域づくりのための取り組み

現状の取り組みでは「地域のまちづくり」の満足度が高い

現状の取り組みについては、「地域のまちづくり」で[満足]の割合が 25.4%を占めて相対的に多く、「安全に暮らせる地域づくり」で[不満]の割合が 34.8%を占めて多くなっている。今後の取り組みについては、「安全に暮らせる地域づくり」で[優先を希望する回答]が 73.7%を占めて相対的に多く、「国際化・地域文化の創造」で[優先を希望しない回答]が 14.0%を占めて多くなっている。

問 10. 豊かな地域づくりのための取り組みごとに、「現状に満足しているかどうか」、「今後、優先してほしいかどうか」1つずつお選びください。



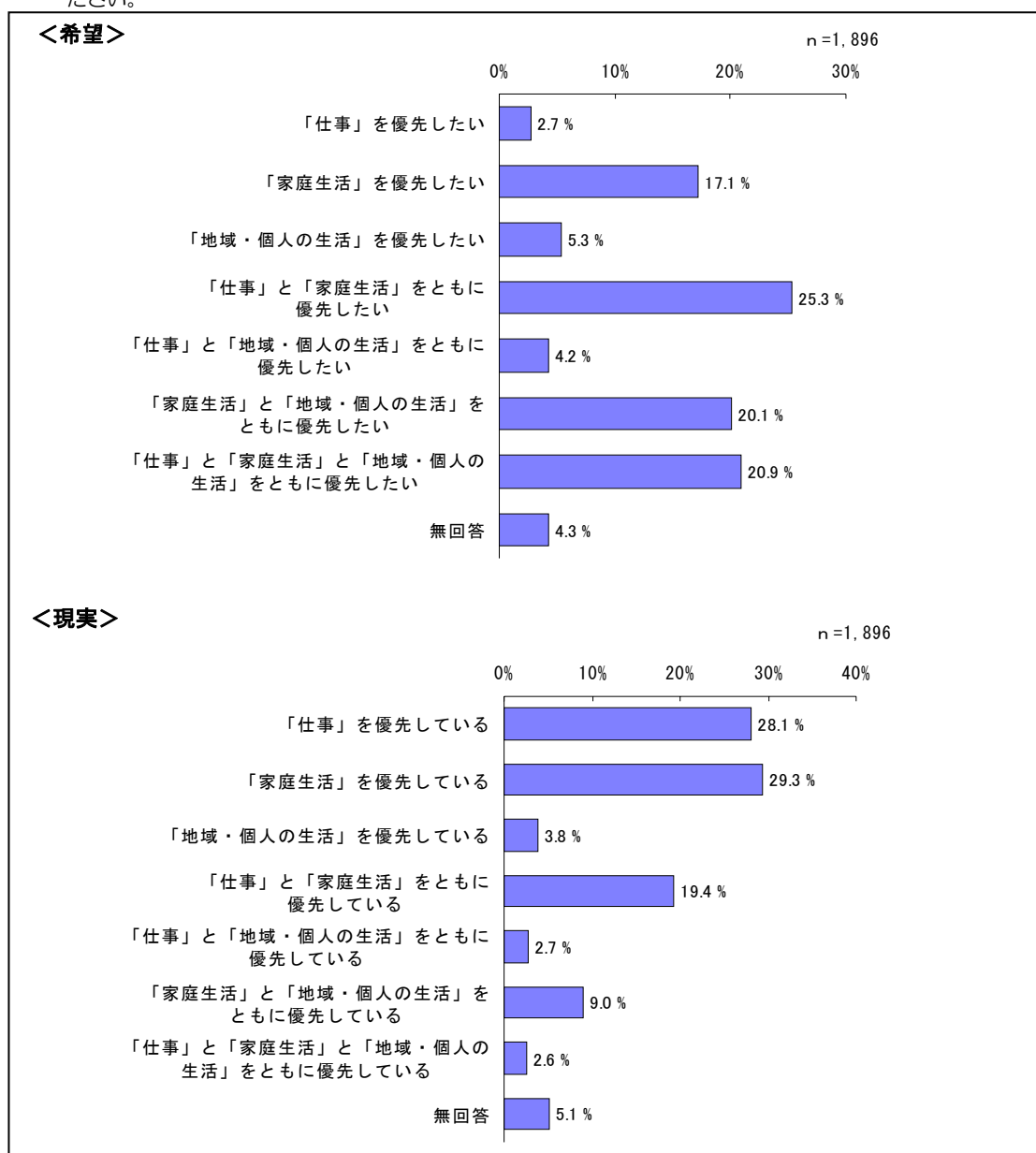
◇男女共同参画について◇

●「仕事」「家庭生活」「地域・個人の生活」の優先度

希望の優先度は「仕事と家庭生活」、現実の優先度は「家庭生活」が多い

「希望」としての優先度については、「『仕事』と『家庭生活』をともに優先したい」(25.3%)が2割台半ばを占めて最も多く、「現実」としての優先度については、「『家庭生活』を優先している」(29.3%)が3割弱を占めて最も多くなっている。

問 17. 生活の中での「仕事」「家庭生活」「地域・個人の生活」の優先度について伺います。「希望」としての優先度と、「現実」としての優先度について、あなたのお考えや現状に最も近いものをそれぞれの中から1つずつお選びください。

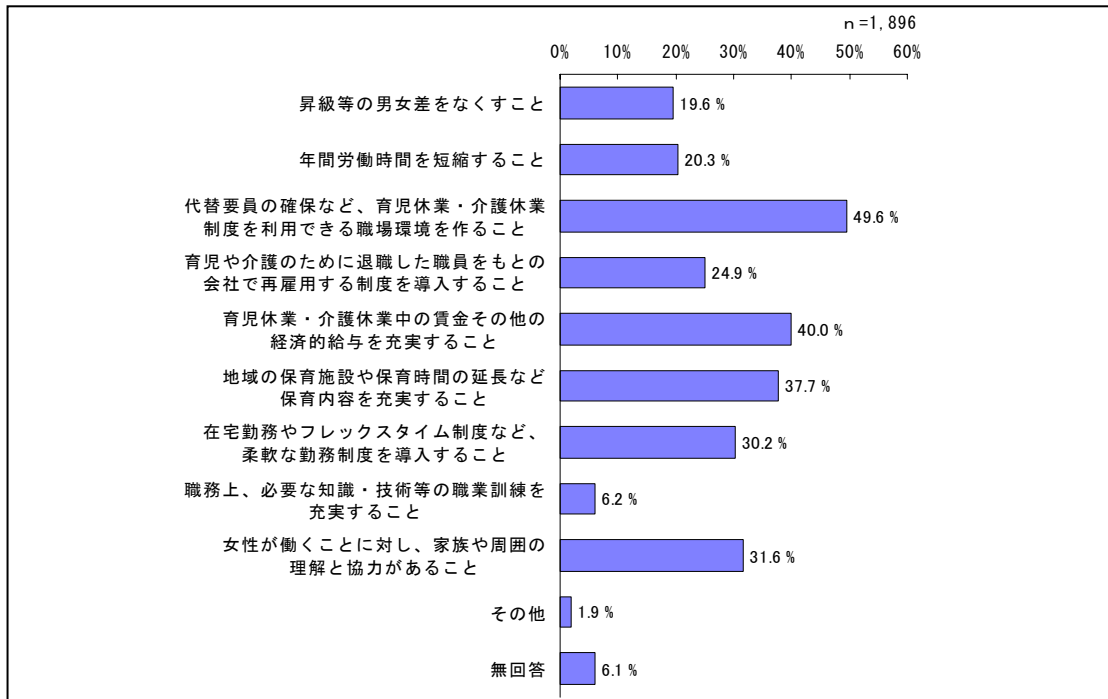


●仕事と家庭の両立をしていくために必要な条件

条件は「育児休業・介護休業制度を利用できる職場環境をつくる」が多い

男女がともに仕事と家庭の両立をしていくために必要な条件については、「代替要員の確保など、育児休業・介護休業制度を利用できる職場環境をつくること」(49.6%)が半数近くに達して最も多く、次いで「育児休業・介護休業中の賃金その他の経済的給与を充実すること」(40.0%)が多くなっている。

問 21. 一般的に男女がともに仕事と家庭の両立をしていくためには、どのような条件が必要だと思いますか。



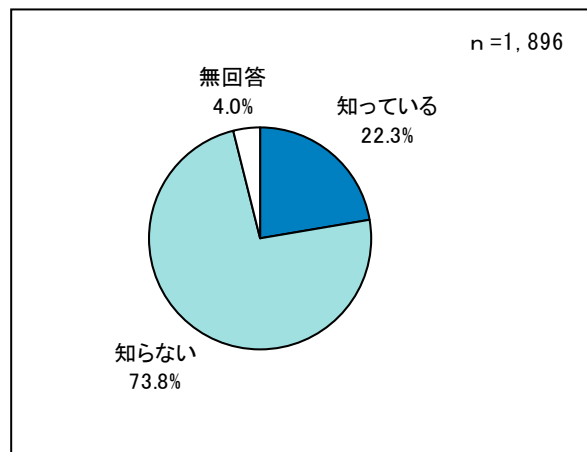
◇越谷市健康づくり行動計画「いきいき越谷21」について◇

●「いきいき越谷21」の周知度

「いきいき越谷」は「知らない」が7割

問 22. あなたは、越谷健康づくり行動計画「いきいき越谷21」を知っていますか。

「いきいき越谷21」の周知度については、「知らない」(73.8%)が7割を超えて、「知っている」(22.3%)との開きは51.5%となっている。



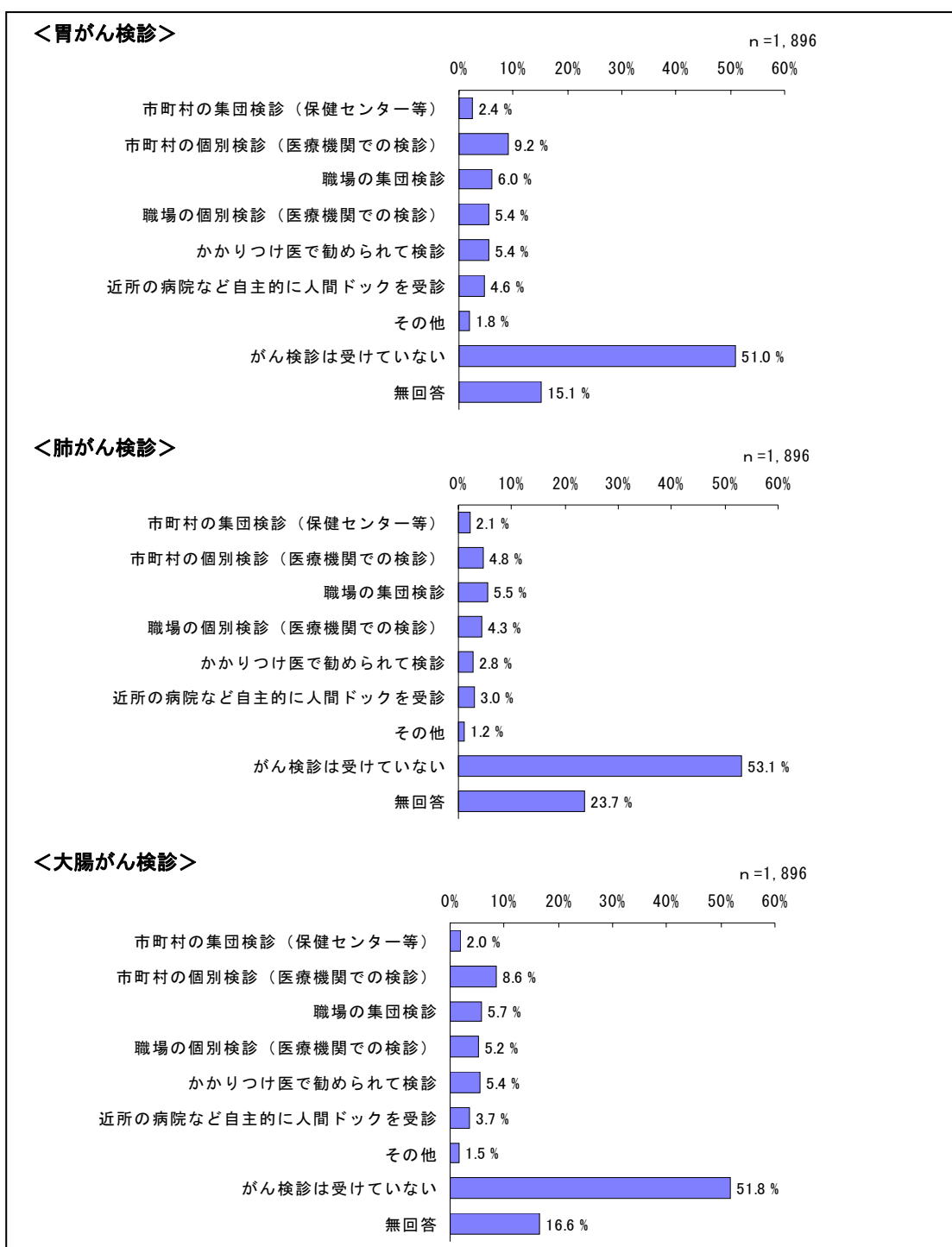
◇各種がん検診の受診状況について◇

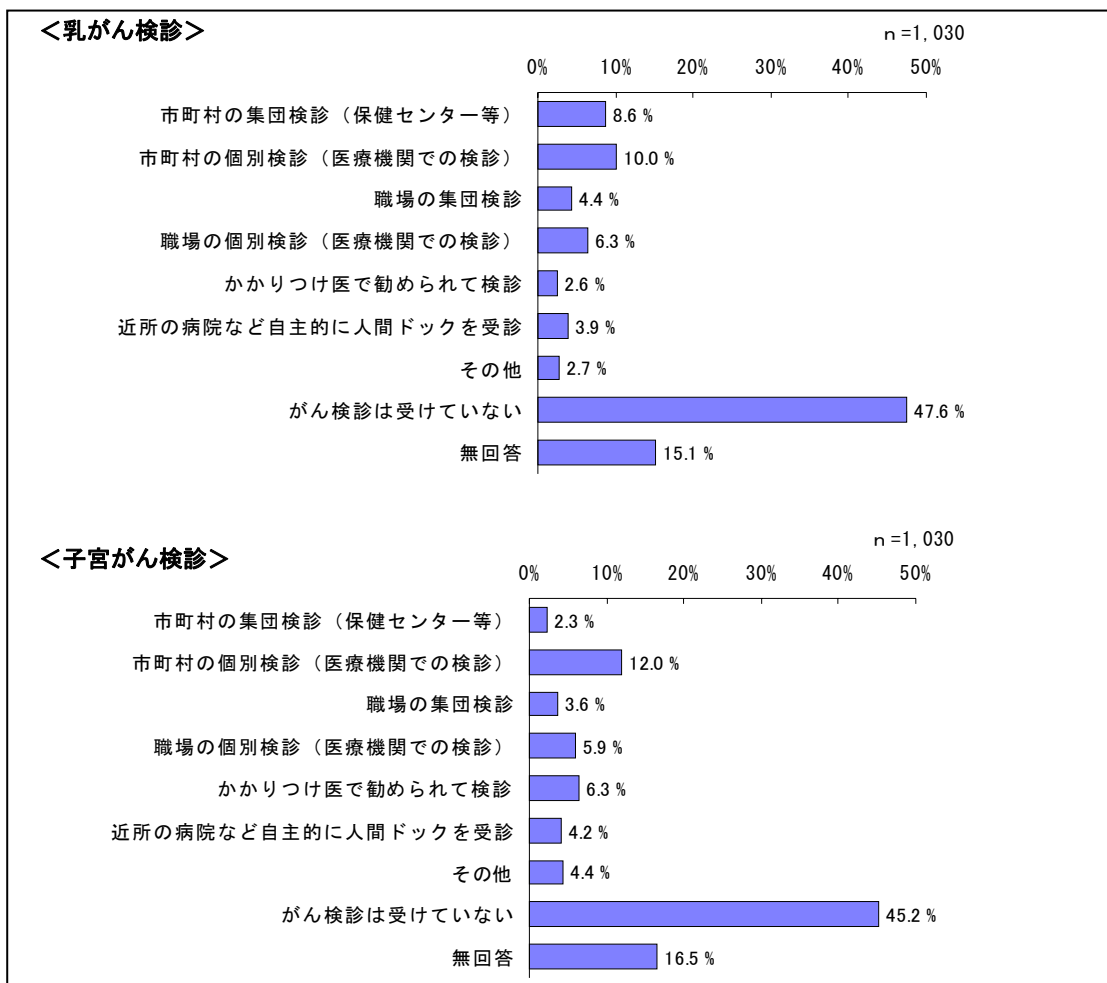
●過去3年間のがん検診の受診状況

「がん検診は受けていない」が半数近くに達している

直近のがん検診の受診状況については、いずれの検診についても「がん検診は受けていない」とする回答が半数近くを占めている。受診している人の受診先としては、「肺がん検診」を除く各検診で「市町村の個別検診（医療機関での検診）」と回答する人が多く、とくに「子宮がん検診」で12.0%に達している。

問 23. あなたは、過去3年間にどこでがん検診を受けましたか。





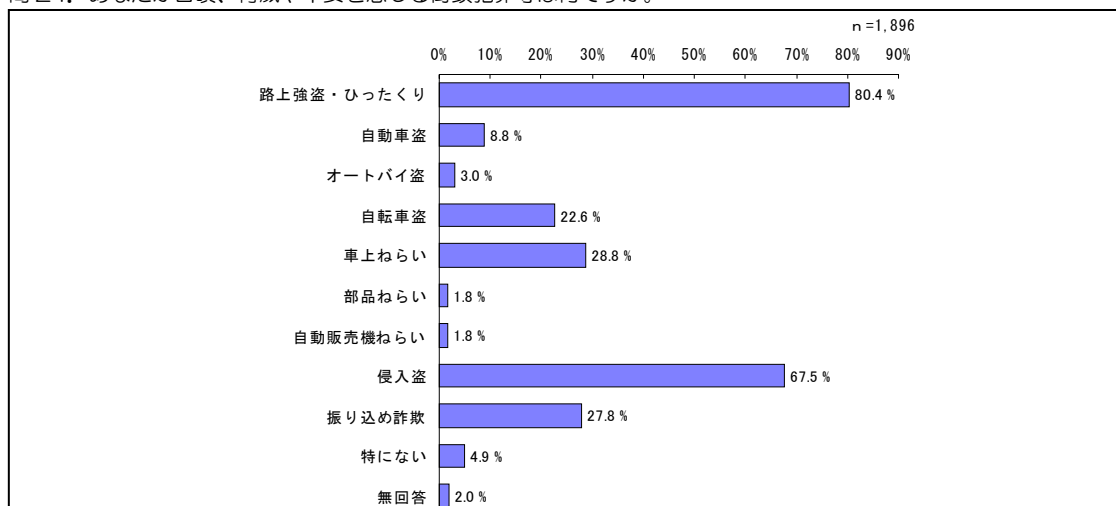
◇防犯について◇

●日頃、脅威や不安を感じる街頭犯罪等

脅威や不安を感じるのは「路上強盗・ひったくり」が最も多い

脅威や不安を感じる街頭犯罪等については、「路上強盗・ひったくり」(80.4%)が8割に達して最も多く、次いで「侵入盗」(67.5%)の順となっている。

問 24. あなたが日頃、脅威や不安を感じる街頭犯罪等は何ですか。

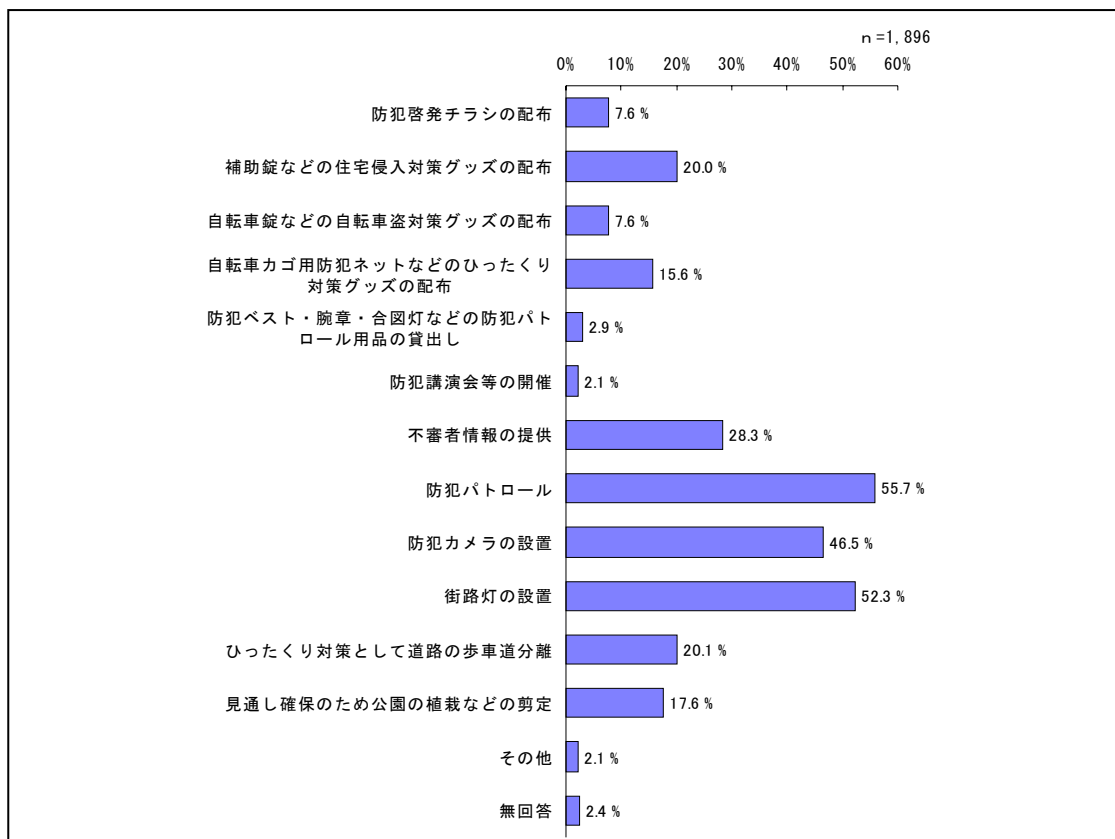


●防犯のために効果的なこと

効果的なこととしては「防犯パトロール」が最も多い

防犯のために効果的なことについては、「防犯パトロール」(55.7%)が5割台半ばに達して最も多く、次いで「街路灯の設置」(52.3%)の順となっている。

問 26. あなたは、市が防犯のためにどのようなことを行うと効果的だと思いますか。



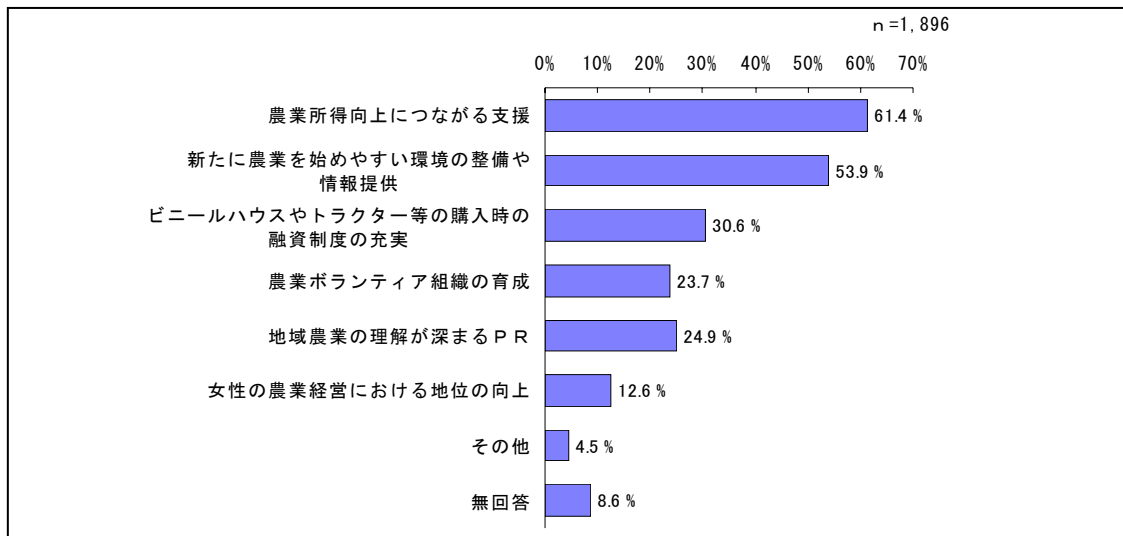
◇越谷の農業について◇

●農業の担い手の確保、育成のために必要なこと

必要なこととしては「農業所得向上につながる支援」が最も多い

農業の担い手の確保、育成のために必要なことについては、「農業所得向上につながる支援」(61.4%)が6割に達して最も多く、次いで「新たに農業を始めやすい環境の整備や情報提供」(53.9%)が多くなっている。

問 34. 越谷市を含め、日本の農家数は減少し、また、農業者の高齢化も進んでいますが、農家の担い手の確保、育成のためには何が必要だと思いますか。

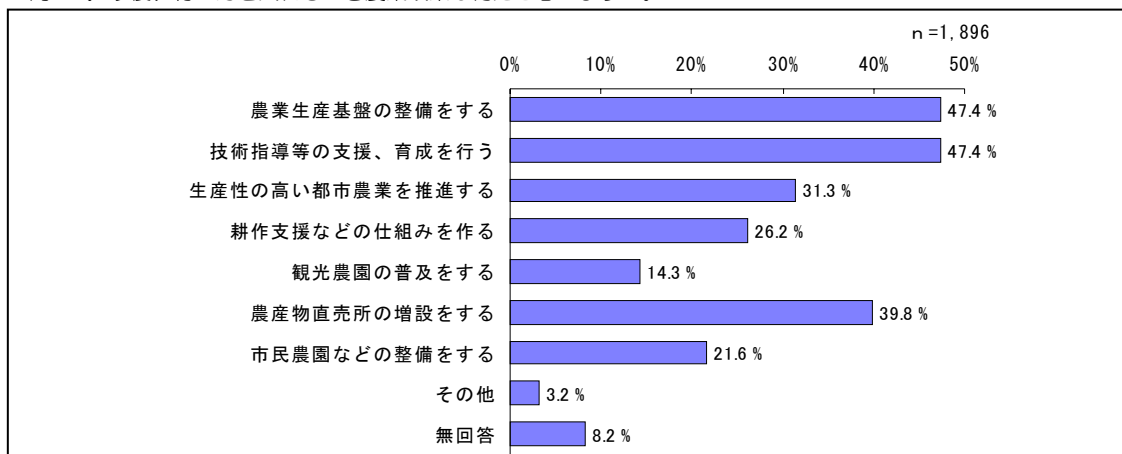


●今後、特に力を入れるべき農業政策

「農業生産基盤の整備」と「技術指導等の支援、育成」が最も多い

今後、力を入れるべき農業政策については、「農業生産基盤の整備をする」と「技術指導等の支援、育成を行う」(ともに47.4%)が半数近くに達して最も多く、次いで「農産物直売所の増設をする」(39.8%)が多くなっている。

問 35. 今後、特に力を入れるべき農業政策は何だと思いますか。



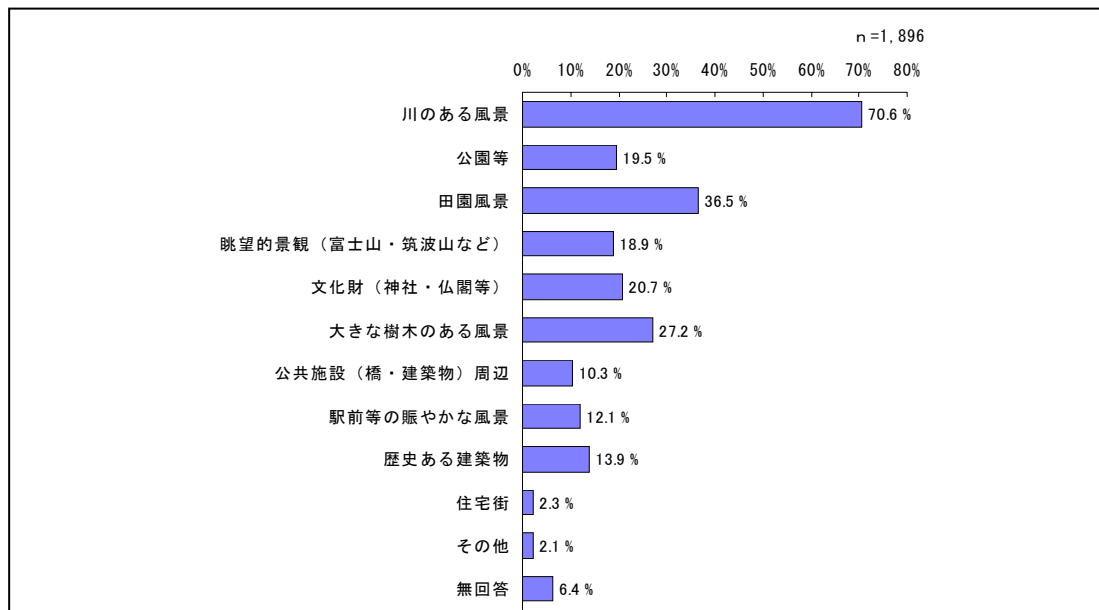
◇景観について◇

●市内の好きな風景

好きな風景は「川のある風景」が最も多い

市内の好きな風景については、「川のある風景」(70.6%)が7割に達して圧倒的に多く、次いで「田園風景」(36.5%)が多くなっている。

問 36. 市内の好きな風景はどのようなものですか。

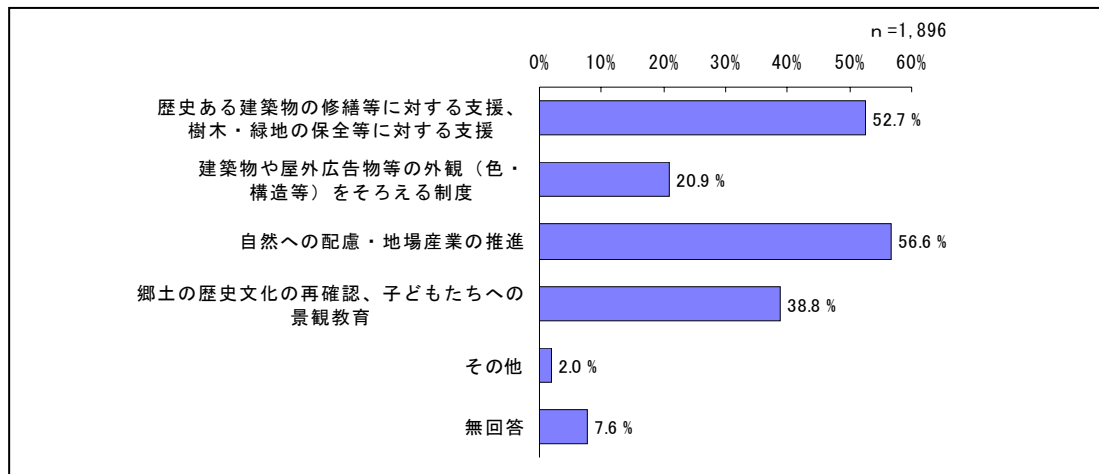


●好きな風景を残すために必要なこと

必要なこととしては「自然への配慮・地場産業の推進」が最も多い

好きな風景を残すために必要なことについては、「自然への配慮・地場産業の推進」(56.6%)が5割台半ばに達して最も多く、次いで「歴史ある建築物の修繕等に対する支援、樹木・緑地の保全等に対する支援」(52.7%)が多くなっている。

問 39. 好きな風景を残すためには、どのようなことが必要と考えますか。



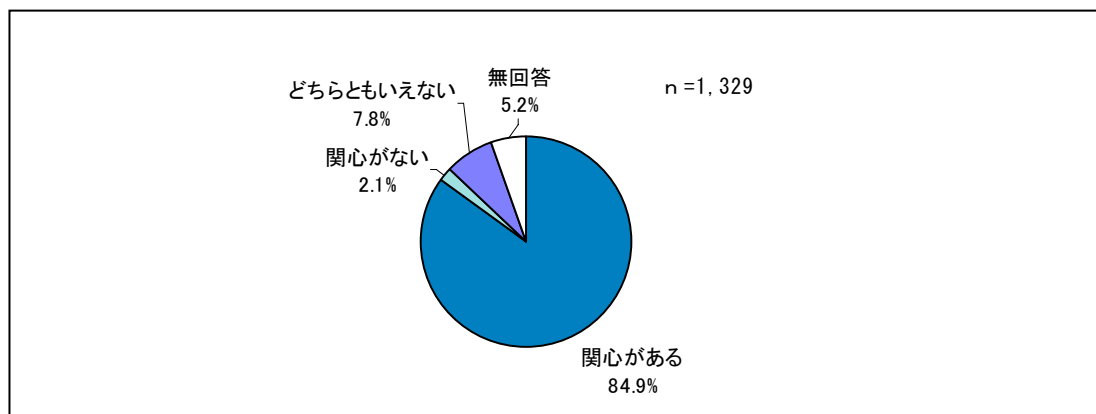
◇住宅等における耐震診断・改修について◇

●耐震についての関心

「関心がある」が圧倒的に多い

耐震についての関心は、「関心がある」(84.9%)が8割台半ばを占めて圧倒的に多く、「関心がない」(2.1%)との開きは82.8%となっている。

問 41. 持ち家一戸建てにお住まいの方に伺います。あなたは、耐震について関心がありますか。

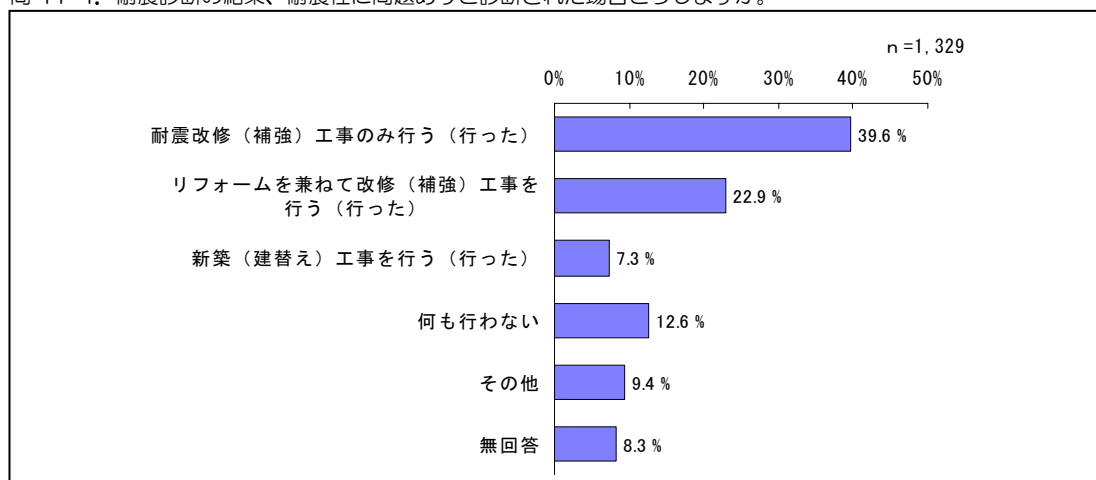


●耐震性に問題がある場合の対応（持ち家一戸建てにお住まいの方）

「耐震改修（補強）工事」を行う（行った）が4割を占めて最も多い

耐震性に問題があると診断された場合の対応については、何らかの対応をとると回答した人は69.8%を占めて多くなっている。そのうち、「耐震改修（補強）工事」(39.6%)と「リフォームをかねて改修（補強）工事」(22.9%)を行う（行った）とする回答とを合わせた[改修（補強）を行う（行った）]とする回答は62.5%を占めており、「新築（建替え）工事を行う（行った）」とする人は7.3%となっている。また、「何も行わない」とする人も12.6%いる。

問 41-4. 耐震診断の結果、耐震性に問題ありと診断された場合どうしますか。

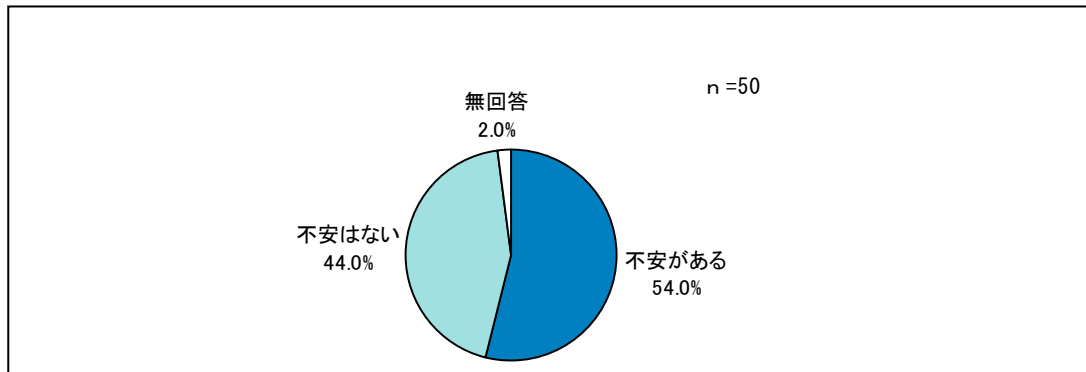


●耐震構造についての不安（分譲マンションお住まいの方）

半数近くが「不安がある」

耐震構造に対する不安については、50 人中 27 人(54.0%)が「不安がある」と回答している。他方、50 人中 22 人(44.0%)が「不安はない」と回答している。

問 42-1. **問 42**（お住まいの分譲マンションが昭和 56 年 5 月 31 日以前に建築された建物かどうか）で「1・はい」または「3・わからない」と答えた方に伺います。耐震構造に不安がありますか。

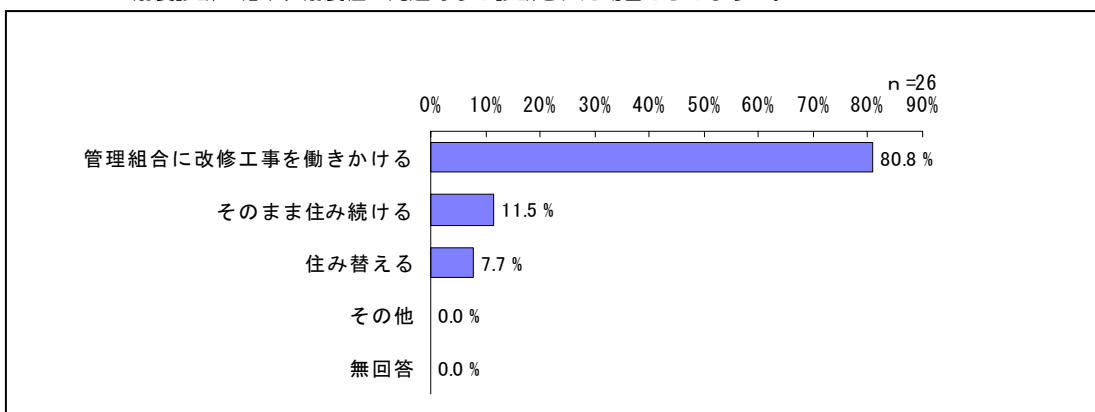


●耐震性に問題がある場合の対応（分譲マンションにお住まいの方）

「管理組合に改修工事を働きかける」が最も多い

耐震性に問題があると診断された場合の対応については、26 人中 21 人(80.8%)が「管理組合に改修工事を働きかける」と回答しており最も多くなっている。

問 42-3.（お住まいの分譲マンションが昭和 56 年 5 月 31 日以前に建築された建物で、耐震構造に不安があり）問 42-2 で「1・耐震診断を行いたい」または「2・助成があれば診断を行いたい」と答えた方に伺います。耐震診断の結果、耐震性に問題ありと診断された場合どうしますか。



◇越谷市の施策について◇

●よくなってきたと感じるもの

よくなってきたこととしては「駅周辺の整備」が最も多い

市政の中でよくなってきたと感じるものについては、「駅周辺の整備」(37.1%)が3割台半ばに達して最も多く、次いで「バス路線等公共交通網の充実」(29.1%)、「ごみ・し尿の処理対策」(26.0%)の順となっている。

問 43. 市では様々な施策を進めていますが、ここ数年のうちで「よくなってきたと感じるもの」を次の中から5つまで選びご記入ください。

		1位	2位	3位
全体 (n=1,896)		駅周辺の整備 37.1	バス路線等公共交通網の充実 29.1	ごみ・し尿の処理対策 26.0
性・年齢別	女性全体	駅周辺の整備 34.5	バス路線等公共交通網の充実 30.8	ごみ・し尿の処理対策 28.3
	20歳代	駅周辺の整備 44.8	バス路線等公共交通網の充実、ごみ・し尿の処理対策 20.8	生活道路や都市計画道路の整備 15.6
	30歳代	駅周辺の整備 36.7	バス路線等公共交通網の充実 23.0	ごみ・し尿の処理対策 19.9
	40歳代	バス路線等公共交通網の充実 41.4	駅周辺の整備 38.6	ごみ・し尿の処理対策 27.1
	50歳代	駅周辺の整備 39.0	バス路線等公共交通網の充実 33.3	ごみ・し尿の処理対策 25.4
	60歳代	ごみ・し尿の処理対策 39.6	バス路線等公共交通網の充実 38.0	駅周辺の整備 29.6
	70歳以上	ごみ・し尿の処理対策 28.4	駅周辺の整備 24.1	バス路線等公共交通網の充実 23.5
	男性全体	駅周辺の整備 41.1	バス路線等公共交通網の充実 27.6	ごみ・し尿の処理対策 23.4
	20歳代	駅周辺の整備 35.8	バス路線等公共交通網の充実、ごみ・し尿の処理対策 19.4	土地区画整理事業などの市街地整備 11.9
	30歳代	駅周辺の整備 45.9	バス路線等公共交通網の充実 28.9	土地区画整理事業などの市街地整備 20.7
	40歳代	駅周辺の整備 43.9	バス路線等公共交通網の充実 28.9	生活道路や都市計画道路の整備、公園や緑地の整備 17.5
	50歳代	駅周辺の整備 42.4	バス路線等公共交通網の充実 32.0	ごみ・し尿の処理対策 20.8
	60歳代	駅周辺の整備 45.1	下水道(公共下水道や排水路)の整備 31.2	ごみ・し尿の処理対策 30.7
	70歳以上	駅周辺の整備 31.0	ごみ・し尿の処理対策 26.2	バス路線等公共交通網の充実 25.0

●特に力を入れるべきだと思われるもの

特に力を入れるべきこととしては「防犯対策」が最も多い

市政の中で、今後、特に力を入れるべきだと思うものについては、「防犯対策」(36.2%)が3割台半ばに達して最も多く、次いで「高齢者福祉の充実」(33.6%)、「地域医療や救急医療体制の整備」(30.6%)の順となっている。

今後の市政の中で「特に力を入れるべきだと思われるもの」を、次の中から5つまで選びご記入ください。

		1位	2位	3位
全体 (n=1,896)		防犯対策 36.2	高齢者福祉の充実 33.6	地域医療や救急医療体制の整備 30.6
性・年齢別	女性全体	防犯対策 35.6	高齢者福祉の充実 34.4	地域医療や救急医療体制の整備 32.6
	20歳代	防犯対策 46.9	地域医療や救急医療体制の整備 30.2	勤労者の福祉や雇用を促進する 24.0
	30歳代	防犯対策 44.4	地域医療や救急医療体制の整備 35.2	児童福祉の充実 32.1
	40歳代	防犯対策 40.0	高齢者福祉の充実 32.1	地域医療や救急医療体制の整備 31.4
	50歳代	高齢者福祉の充実 45.2	地域医療や救急医療体制の整備 39.0	防犯対策 32.2
	60歳代	高齢者福祉の充実 42.4	防犯対策 34.4	地域医療や救急医療体制の整備 34.0
	70歳以上	高齢者福祉の充実 38.3	地域医療や救急医療体制の整備 22.8	防犯対策、介護保険の充実 21.0
	男性全体	防犯対策 37.3	高齢者福祉の充実 33.1	地域医療や救急医療体制の整備 29.1
	20歳代	防犯対策 37.3	駅周辺の整備 23.9	交通安全対策 20.9
	30歳代	防犯対策 45.9	児童福祉の充実 31.1	高齢者福祉の充実 30.4
	40歳代	防犯対策 39.5	地域医療や救急医療体制の整備 28.1	高齢者福祉の充実 27.2
	50歳代	防犯対策 34.4	地域医療や救急医療体制の整備 32.8	高齢者福祉の充実 32.0
	60歳代	高齢者福祉の充実 42.3	防犯対策 37.7	地域医療や救急医療体制の整備 30.7
	70歳以上	高齢者福祉の充実 49.3	防犯対策 31.0	地域医療や救急医療体制の整備 28.6